

行財政改革実施計画・行動計画票

No.	24	実施済み	[平成 22 年 8 月 2 日 提出]					
基本方針	1 財政の健全化				担当課名	水道課		
重点項目	2 歳出削減に向けた主要な取り組み (6)他会計繰出金の抑制 ア 簡易水道							
取組項目	23 漏水対策の実施							
経過・現状 (H17.4.1現在)	・平成16年度有収率;83.9% ・各支所で各簡易水道ごとに有収率を把握し、適宜漏水対策に取り組む ・経費節減に努め、漏水対策による有収率向上を図る。							
推進スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 20 年度	
	検討	一部実施		実施	-			
実績評価	B	B	B	B	A	達成年次	平成 - 年度	
	計画見直し	計画見直し	計画見直し	計画見直し	計画どおり			
行動概要	目標	有収率90%以上						
	期待される効果	・地域住民への安定給水の向上 ・受益者負担の適正化 ・水道事業経営の効率化						
	必要性問題点	・定期的な漏水調査計画の策定と実施 ・組織機構の見直しによる効率的な組織運営の検討						
	対象	町民及び職員等						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(10,365 千円)	
		17年度 (実績)	・漏水対策するも有収率の減 ・有収率;80.89%(H16年度有収率;83.90%)				目標数値	有収率;85.00%
							効果	歳入(千円) 歳出(1,000 千円)
	18年度 (実績)	・漏水対策するも有収率の減 ・有収率;80.60%				目標数値	有収率;85.00%	
							効果	歳入(千円) 歳出(1,000 千円)
	19年度 (実績)	・漏水調査計画を策定し定期的な漏水調査を実施して、漏水箇所については修繕にて有収率向上を図っているが、管の老朽化等による漏水が多く追いついていない。 ・有収率;75.8%				目標数値	有収率;85.00%	
						効果	歳入(千円) 歳出(2,700 千円)	
20年度 (実績)	・漏水調査計画を見直し、定期的な漏水調査の実施を強化する。 ・漏水探知機保有台数 9台(内一台は、現年度購入) ・漏水探知機は、現在性能が確保できている物が3台あるが、老朽管の管路が道路拡張等により把握状況が不明確になっているため、管路の改良事業と合わせて全体管路図を整備する必要があります。 ・有収率73.6%				目標数値	有収率;85.00%		
						効果	歳入(千円) 歳出(5,665 千円)	
21年度 (実績)	・日頃から各配水池ごとに通常の配水流量を把握し、異常値を確認し漏水が想定される場合は直ちに漏水調査を実施した。 ・性能の低下した漏水探知機による調査においては、漏水箇所特定の中率が低く調査が非効率となる。漏水探知機を現在9台保有しているが、内4台は修理不可能である。20、21年度に各1台購入したが、残る2台も購入後年数が経過しているので、更新を図っていく。 ・有収率80.0%				目標数値	有収率;90.00%		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称					改正時期		